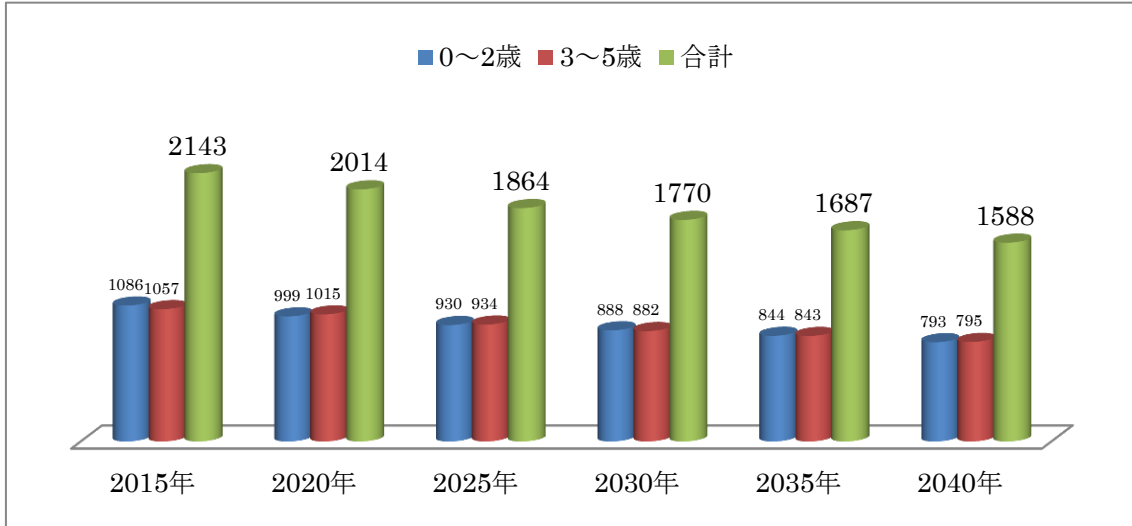


就学前教育・保育に関する将来の見込みについて

1. 就学前児童数の将来推計（コーホート要因法による推計）

2040年には現在の約75%まで、減少する見込みです。



2. 保育所・幼稚園利用者数の将来推計

将来推計利用者数＝将来推計人口×利用率で算出する。

（1）利用率の算出

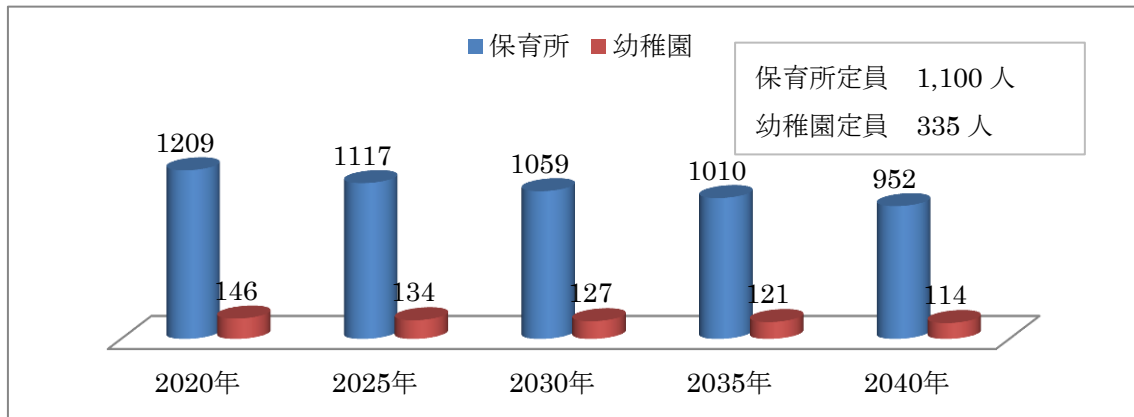
加東市在住の児童の、保育所・幼稚園の利用割合（利用者数÷対象年齢の子どもの数）は、下表のとおり。（平成25年度）

施設	年齢	児童数	利用者数	利用率	利用率補正 (×1.4)	
全体	保育所	0～2歳	1,082人	335人	30.9%	43.30%
		3～5歳	1,117人	855人	76.5%	—
	幼稚園	3～5歳	1117人	161人	14.4%	—
市立のみ	保育所	0～2歳	1,082人	82人	7.5%	10.50%
		3～5歳	1117人	198人	17.7%	—
	幼稚園	4～5歳	745人	82人	11.0%	—

※0～2歳については、ニーズ調査の結果を基に補正。（黄色の数字を使う）

(2) 将来推計利用者数（市内全体）

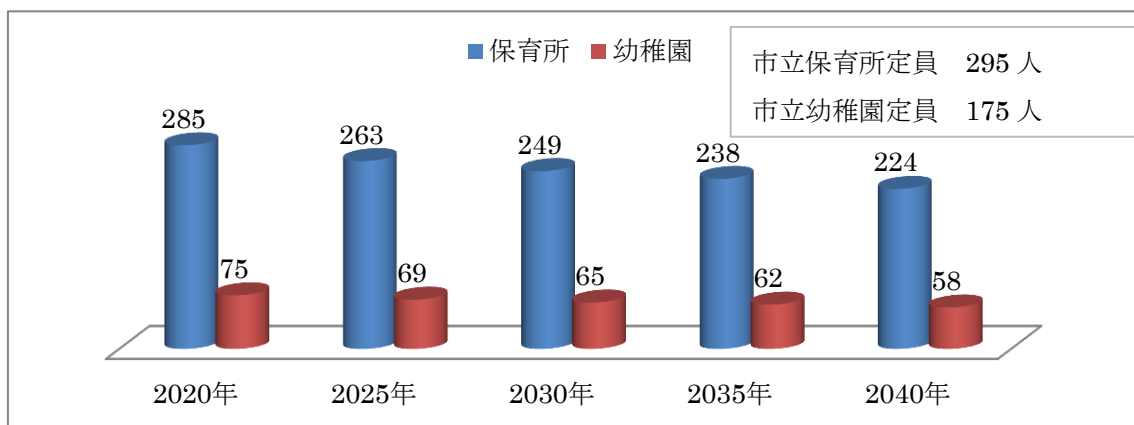
市内全体でみると、保育所については2040年には定員充足率は約87%まで落ち込み、約150人の定員の空きが生じる見込みです。幼稚園については、2040年には定員充足率34%、約221人の定員の空きが生じる見込みです。



定員充足率	年度	2020	2025	2030	2035	2040
	保育所	109.9%	101.5%	96.2%	91.8%	86.5%
	幼稚園	43.5%	40.0%	37.9%	36.1%	34.0%

(3) 将来推計利用者数（市立施設のみ）

市立園のみでみると、保育所については2040年には定員充足率は約75%まで落ち込み、約70人の定員の空きが生じる見込みです。幼稚園については、2040年には定員充足率33%、約120人の定員の空きが生じる見込みです。



定員充足率	年度	2020	2025	2030	2035	2040
	保育所	96.6%	89.1%	84.4%	80.6%	75.9%
	幼稚園	42.8%	39.4%	37.1%	35.4%	33.1%

※ (2) (3) の利用見込数は、(1) で算出した利用割合が変化しないものとして算出。

※ (2) (3) 定員充足率は、現在の定員が変化しないものとして算出。